

梁の定着プレートが算出されない

梁プロパティで、定着プレートを「あり」に設定しているに、算出されない場合があります。

【原因】

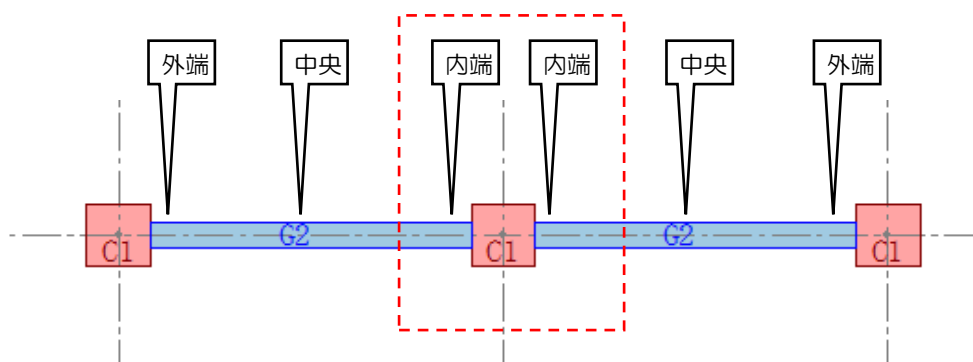
主筋が柱に定着するのではなく、柱を引き通すと判断されているため。

(例)

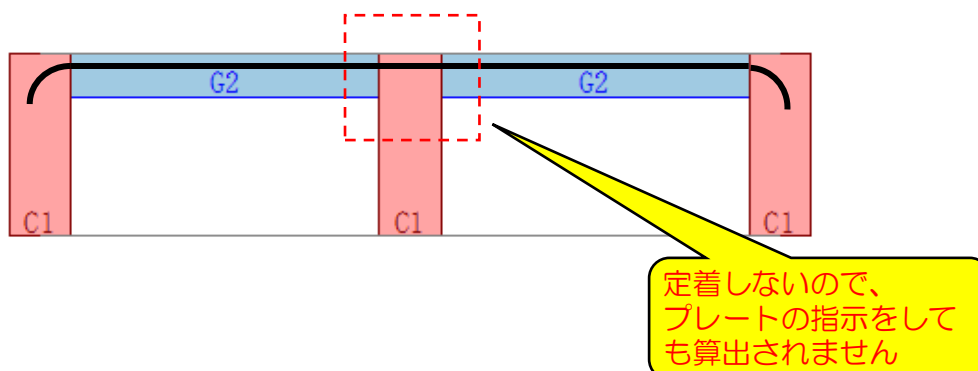
部位	記号	階S	階E	メモ
G	2	2	R	

断面情

連続梁は、左から、外端-中央-内端、外端-中央-内端、最終梁のみ内端-中央-外端のリストを使用します。



従って上記の場合、先頭の梁の右側と次の梁の左側は、同じ記号の内端どうしなので、主筋は定着でなく、柱を引き通すと判断されます。



【対処】

先頭の梁の右側を強制的に定着に設定します。

梁プロパティの「拾い情報」タブの「アンカー指示」で、1：上端定着、2：下端定着、3：上端+下端定着のどれかを選択します。



これにより、先頭の梁の左右と、次の梁の左右に定着プレートが算出されます。